３学年道徳学習指導案

１　主題名　思いやり　２－（２）

２　ねらい　温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心を持つ

３　資料名　「埋み火」（出典：あかつき）

４　主題設定の理由

他の人とのかかわりの中で、温かい人間愛の精神を深め、これを身に付けることは人間としてきわめて大切なことである。人間愛の精神は、他の人に対する思いやりの心を通して具現化される。

中学生の時期には、人間愛に基づく他の人とのかかわりを持つことの大切さを理解できるようになってくる。しかし、人間的なかかわり合いの場が急速に少なくなり、とかく利己的、自己中心的になりやすく、他を省みない行動に走る場合がある。

本資料の主人公は、末期医療にかかわるなかで、自分の無力さを自覚し思い悩む。しかし、旅行先で自然のよさや「埋み火」のさりげない温かさに出合うことで、今まで以上の「人を思いやる心」に気付いていく。指導に当たっては単に『「埋み火」から思いやりの精神を学んだ』だけでなく、以前からも患者に向かって「がんばって」と励ましていた主人公の「思いやり」の質がどのように変容したのかを考える中で、「さりげない温かさ」「相手の気持ちの寄り添った思いやり」について考えさせたい。

５　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 主な発問と予想される生徒の反応 | 留意点 |
| 導入 | 末期医療について |  |  |
| 展開 | 資料を読む１．看護に悩む純子の気持ちをつかませる２．以前との変容に気付かせる３． 本当の思いやりとは | 発問①純子は看護に対してどんな悩みを抱えていたのだろう。　・むなしい。　・苦しみを和らげてあげたいのに…。発問②「すみません、少し……」と言いかけて言葉を飲み込んだとき、どんなことを考えていたでしょう。　・「埋み火」のことを思い出した。　・この人は手を握ってほしいんだ。**発問③**純子はおかみさんに何と語りかけていたでしょう。　・私も「埋み火」のように生きたい。　・やるべきことが見えてきました。。 | キーワードむなしいどうせワークシート以前の「がんばって」との違いは？ |
| 終末 | マザー・テレサの言葉 |  |  |

６　板書計画

　　埋み火

　末期医療

　　・むなしい

　　・苦しみを和らげてあげたいのに…。

　すみません、少し…

　　・埋み火のことを思い出した。

　　・この人は手を握ってほしいんだ。

　おかみさんへ

　　・自分がやるべきことが見えてきました。。

　　・これからは埋み火のように生きま

　　　す　　　　　↓

　　　　　　　さりげない温かさ